

和田晃宜（東京大学医学部附属病院）

2017年スタートの1月から3月まで紀南病院で3か月間お世話になりました。研修医として主に病棟業務や救急外来を診させていただきました。その中でも、印象的だったのはやはり地域丸ごとなんでも診る多彩さでした。ブドウ球菌性肺炎、肝膿瘍、COPD急性増悪、憩室炎、交通外傷、小児の発熱、尿閉、糖尿病教育入院、大腸癌イレウス、意識障害、閉塞性腎盂腎炎、うっ血性心不全などと挙げればきりが無いほど多彩でした。病状説明、お看取りなどこれまでの研修医生活で一番前面に立たせて実践させていただきました。地域研修としては往診、ミニタウンミーティング、救急車同乗、消防署研修などこれも様々な経験をさせていただきました。紀南病院のスタッフの方は非常にお優しく、景色も海が綺麗で暖かく、とても恵まれた環境でした。一方でこのように地域丸ごと何でも診ること、責任を持った医師の大変さも痛感しました。上級医の濱口先生には本当によくしていただきました。他の先生方にもいろいろなことを教えていただきました。私生活でも他の研修医と伊勢神宮に行ったり、熊野古道を歩いたり、新宮へ飲みに出たりとたくさんの経験をさせてもらいました。奥野センター長、事務の方にもたくさんご迷惑をおかけしながらも非常に寛大なサポートをいただきました。最後まで多大なご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。3か月間本当にありがとうございました。

